



北稜祭 小演劇 お疲れ様でした！

キャストで表舞台に立った人、裏方でクラスを支えた人、あなたは役割に全力を發揮できましたか？ また、クラスのみならず協力し、有意義な時間を過ごすことができたでしょうか？ がんばれたと思える人の割合が多いクラスが、やはり、楽しかったと思える結果を出せたのではないのでしょうか？ クラス全員参加・全員本気で取り組むためには、まず自分が行動してみましょう。体育祭もクラス全員で一致団結し、全力で取り組みましょう。

また、希望進路を実現するためには、振り返りシートをもとにパソコンかスマホでのJAPAN e-ポートフォリオの入力をしておくことが必要です。北稜祭の振り返りをe-ポートフォリオにまとめておきましょう。

審査結果

<小演劇の部>

第1位 7組

「Alice in Wonderful land
～すてきな国のアリス～」



第2位 2組

『イケメン？
パラダイス』



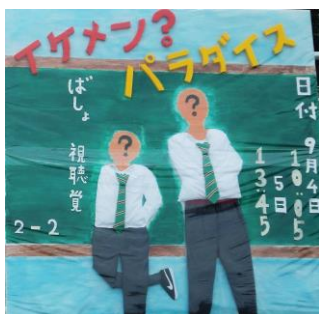
第3位 3組

『花より男子
北稜学園編』



<パネルの部>

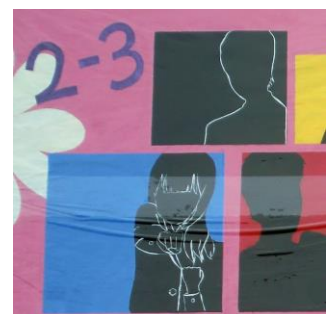
第1位 2組



第2位 6組



第3位 3組





生徒の感想より



- クラスが団結して1つのものを作り上げることが出来て、観客も巻き込んで盛り上がり楽しかった！
- 練習の時はグダグダで本番はどうなるかと思ったけど、練習より上手に出来て良かったです。
- 最初はどのようなか正直言って不安しかなかった。だが、日が近くなるにつれ、クラス全員がやる気になってきてうれしかった。
- 最後の日にまとまり感を感じる事が出来て良かったと思う。違うクラスの公演も楽しかったし、いろいろなジャンルがあって面白かった。
- 最初の時からセリフを覚えるのが大変そうでした。大道具や小道具もみんなでコツコツできてよかったです。
- 大道具を作るとき、ただ作ればいいのではなく、より強度の高いものが出来るように色々考えながらやった。演劇中の出し入れも、いかに暗転中に素早く静かにするかが大変でした。
- 最初にクラスの中で役割を決めずにいたので、みんなで協力して準備することが出来なかった。もっと計画的にしたかった。でも、本番はアドリブなどをいれて、面白かった。
- 初めはじゃんけんに負けてキャストをやらないといけなくて、すごく嫌やったけど、本番、見てくれる人達が笑ったり、色々言ってくれて、嬉しかった。
- 演劇を見るのも、自分のクラスの演劇を裏で支えるのも楽しかったです。本番は出てもないのに緊張しました。
- 台本作りがとても大変だったし、中々キャストの人もセリフを覚えてくれなくて、大道具も何もしてない状態で毎日本当に心配でした。
- 準備の段階がつかかった。クラスの中でもあまり行事に関わろうとしない人がいたので、見て嫌だった。
- セリフが止まって無言になる時間を無くしたり、動きを合わせたり、何より自然に見せるために脚本に書いていない動きやセリフを付け足す作業が大変で、見ている人に違和感を感じさせないようにするのがどれだけ大変か良くわかりました。



後輩へのアドバイス



- 夏休みから打ち合わせをやっておくことや計画性を持つことが大切だと思った。
- クラス全体で動くことが一番大切で計画的にやることや、人と人との伝達がとても大切だと気づきました。
- いろいろな情報が出てきてなかには何日までが期限といった大事な情報がいくつもあるので、それらを共有するのが大事だし、話したことがない人とも積極的に話し、人ごと感を作らないことも大事だと思います。
- クラスを引っ張ってくれる人に任すのではなく、自ら役を作ったり、引き受けたりした方が絶対楽しい。
- キャストや脚本の人たちだけでなく、道具や音響、照明、メイクなど、本当にクラスの全員が一致団結しないとなかなか難しいと思う。皆の意見と自分の意見を上手く融合させれば、ものすごく良いものになっていくと思う。
- クラスがまとまり悪いのは当たり前。脚本、演出が変わるのも当たり前。覚悟して早く準備に取りかからないと間に合わないし、変化に対応出来ないと置いてかれるレクオリティも落ちる。裏方だから仕事が少ないとか油断してたらダメ。何でもやるつもりで覚悟する。